



こんにちは！

家電リサイクルが行われるようになって約 20 年になり、作業する人がしんどくならないようにさまざまな工夫がされてきました。どんな変化があったのかを学んでいきましょう！

★関西リサイクルシステムズは、家電製品のリサイクルをしている工場です。

◆2005 年までは本社工場でブラウン管式テレビの解体を行っていましたが、あることが理由で三重県伊賀市にテレビ専用の第二工場を建てました。そのあることとは何でしょうか。正しいと思うものをえらびましょう。



・昔のブラウン管テレビ解体



・第二工場での
ブラウン管テレビの解体

- ① 冷蔵庫やエアコンなど、他の家電製品でいっぱいになったから。
- ② アナログ放送の停止が決まっていたから。
- ③ 勝手にする人が増えたから。

ヒント：当時、ブラウン管式のテレビが見えなくなるため、買い替えが増えると分かっていたのです。

答え（ ）

◆ブラウン管式テレビには、画面部分をパネルガラスといい、背面部分の鉛という物質がふくまれているガラスをファンネルガラスといいます。下の写真は、2 つのガラスを分けている様子ですが、あることをして分けています。それはいったいどれでしょうか。



- ① パネルガラスとファンネルガラスの間にピアノ線でギュッとしばると、2 つが分かれる。
- ② パネルガラスとファンネルガラスの間を、のこぎりで切る。
- ③ パネルガラスとファンネルガラスの間に熱線を当てて、熱くなったところを水で冷やして軽くとたくと分けることができる。

ヒント：ガラスを分ける時は、できるだけ破片や粉が出ないようにします。

答え（ ）

◆ファンネルガラスには鉛という物質がふくまれているので、別の工場で溶かしてガラスと鉛に分けられます。では、混ざり物のないパネルガラスはどんなものに生まれかわるのでしょうか。



- ① ガラスのコップ
- ② 家の断熱材（グラスウール）
- ③ ガラスのくつ

ヒント：残念ながらガラスはガラス製品に生まれかわることがむずかしく、その代わりに粉にして溶かすことでいろんな用途に使えるのです。

答え（ ）

※回答はホームページを確認してね。

